

基礎科目の講義と演習 理解促進テスト【管理職員】

＜福祉サービスの基本理念と倫理＞

- (1) ミッションとは、組織に課せられた使命のことであり、当該組織の価値観、組織文化を方向づける機能を持ち、法人運営の指針となるものである。ミッションは変わることのないものであるから、管理者はこれを正しく理解し、バリュー、ストラテジーを具体化していかなければならない。(×の場合の理由、「ミッション・ステートメント」とは)

個人解答	グループ解答	正解

- (2) 一般にサービス評価は、「アウトプット評価」と「アウトカム評価」がある。前者は、サービスを提供することによって、利用者の生活の質、生活意欲がどの程度向上したかといった評価であり、後者は、支援による身体的負担の軽減など直接的効果についての評価である。(×の場合の理由、「ストラクチャー評価」「プロセス評価」とは)

個人解答	グループ解答	正解

- (3) 福祉サービスを提供する事業者には地域福祉の向上に寄与することが求められており、アウトリーチの手法が重要になる。アウトリーチとは、地域で生活する問題を抱えている人に対して、その人が住んでいる家や場所に支援者が訪問し、具体的な援助に結びつけることであり、対象者の求めによって行うものである。(×の場合の理由、アウトリーチの実践と管理者の役割)

個人解答	グループ解答	正解

- (4) 「地域共生社会」は「断らない」福祉あるいは「たらい回し」にしない福祉を実現するために、地域の関係者総出で新たな福祉の仕組みを構築し、誰もが安心して生活できる地域を構築することを目指している。(×の場合の理由、「地域共生社会」の基本理念とは)

個人解答	グループ解答	正解

- (5) 福祉サービスを行う法人は、利用者の福祉の向上に努めることはもとより、法人が活動する地域住民や地域の福祉の向上に努めなければならないが、報酬の対象となりにくい地域活動については抑制がかかってもやむを得ないことである。(×が、報酬の対象とならない活動については抑制がかかってもやむを得ないことである。の場合の理由、地域福祉の福祉資源として法人の果たすべき役割)

個人解答	グループ解答	正解

<メンバーシップ>

- (6) 組織に所属する人は、誰もがフォロワーシップとリーダーシップを発揮することが求められる。ポジションの変化によってその比率は異なってくるものであり、管理職員が果たすべきリーダーシップは、目標達成に向けて行動を起こす「実行力」である。(×の場合の理由、管理職員に求められるフォロワーシップ)

個人解答	グループ解答	正解

- (7) 管理職員は、現場の最前線で何が起きているのかを的確に把握することが必要であり、サービス提供現場に可能な限り足を運ぶことが求められる。しかし、「現場主義」とは、単に現場に顔を出すだけではないということに留意が必要である。(×の場合の理由、現場の的確な状況把握のための留意点)

個人解答	グループ解答	正解

- (8) やりがいが実感できる組織づくりをするためには、何が働きがいを生み出す要素になるのか、何が職務満足度や職務充実度を高める要素となるか、把握しなければならない。(×の場合の理由、やりがい働きがいに関わる「根源的欲求」とは)

個人解答	グループ解答	正解

- (9) 目標設定から達成計画立案の過程に問題がなかったか点検する際のキーワードとして、「スマート (SMART)」が重要である。点検にあたっては、とくに最初の S : スペシフィック (Specific=明確な) を重要視しなければならない。(×の場合の理由、計画立案の基本手法「SMART」の具体的内容)

個人解答	グループ解答	正解

- (10) 組織をあるべき方向に導くために、管理職員は職場がどのような状況にあるか、精査する必要がある。しかし、スタッフ・エンパワメントを実現するためには、職員一人ひとりの気づきや自発性を尊重した方がよい。(×の場合の理由、3つのエンパワメントとは)

個人解答	グループ解答	正解
